

伝統農法が創る自然豊かな茶の聖地

ひがし やまと
東山大茶園

掛川市 ★世界農業遺産「茶草場農法」(2013年認定) ★令和2年度静岡県景観賞最優秀賞

世界クラスの美しいふじのくに
World-class Charms of FUJINOKUNI



2019年5月末にオープンした「茶草場テラス」。開放的な2階のパノラマテラスは山を吹き抜ける風が最高に心地良い。



1階にはカフェがあり、「かっぽしランチ」など地元食材を使った料理、自慢のお茶などが味わえる。



愛称「かっぽしテラス」は、刈った茶草を束ねて干した「かっぽし」を模している。正月には、テラスの下に茶草で作った巨大な干支が飾られる。



伝統農法の継承に情熱を傾ける
(株)茶文字の里
東山の代表・田中
鉄男さん。



「栗ヶ岳世界農業遺産茶草場テラス」から望む東山大茶園。やはり茶畠が萌黄に染まる新茶の季節が最高だ。
天気が良ければ、富士山、伊豆半島、伊豆七島(八丈島と伊豆大島は除く)も見渡せる。

目次

世界クラスの美しいふじのくに
東山大茶園

知事対談

「スポーツで
好サイクル」を

室伏 広治氏

スポーツ庁長官

新・羅針盤

ふじのくにスタイル
オーブンイノベーションと
オープンマインドで
世界をリード!

ふじのくにルネサンス
静岡県と市町の輝く未来のために
ふじのくに
「しづおか自動運転
Show CASEプロジェクト」

ふじのくにブランド
しらずチップス

ふじのくにライフスタイルで生きる
村上 萌さん・近松 歩さん

「夏ダイヤ2020」
八子 俊昇氏 撮影

表紙の写真



第1回 絶景・秀景
富士山世界遺産写真コンテスト
絶景 しづおか富士山部門 佳作
「夏ダイヤ2020」
八子 俊昇氏 撮影

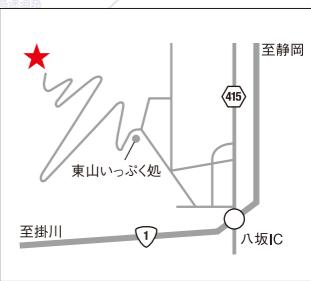


栗ヶ岳の麓から山頂まではハイキングコースが整備されており、低山登山コースとして大人気。登りは約1時間かかるが、途中にはパワースポットも点在。



東山大茶園

掛川市東山1173-2(東山いっぷく処)
JR掛川駅から掛川バスサービス
「東山線」で「東山」下車(約35分)
新東名高速道路・島田金谷IC、東名高速道路・掛川ICまたは相良牧之原ICより約30分
お問い合わせ先
株式会社茶文字の里 東山
<https://www.higashiyamacha.jp>
0537-27-2266(東山いっぷく処)



だけが重要な訳ではないことを若手に
わかってもらいたい。それが農法を伝承
する力になると思います」と語る。
里の人たちが誇りを持って守り続
ける伝統農法が創る景観が、見る人
の美意識やアイデンティティを感
じるからだろう。

掛川市の北東部、栗ヶ岳の山麓に
広がる東山地区は、上質な深蒸し茶
の産地として知られている。緩やか
な丘陵地に整然と広がる茶畠は、緑
の波のように美しい、清々しい。
明治以降に茶栽培が盛んになった
東山では、古くから茶畠の周辺に「茶
草場」と呼ばれる半自然の草地を作
り、そこで刈った草を干して茶畠の間
に敷く「茶草場農法」が行われてきた。
茶草は、冬は保温、夏は保水効果が
あり、養分の多い腐植土壤を生成。
これが土壤へのCO₂吸収を促し、生
物多様性に富んだ環境も生み出す。
SDGsにもかなう農法だ。東山地区
は、世界農業遺産に認定された地域
内で唯一里全体で伝統農法に取り組
み続ける「茶の聖地」もある。

令和元年、巨大な「茶」の文字で
有名な栗ヶ岳山頂に「栗ヶ岳世界農
業遺産茶草場テラス」が新装オープ
ンした。茶草干しの「かっぽし」を模
した建物はモダンで、開放感抜群。大
茶園を中心、駿河湾、伊豆半島、
富士山まで一望できる大パノラマは壯
觀で崇高だ。

テラスを管理運営する(株)茶文字

の里 東山の田中鉄男さんは、「もっと
茶の付加価値を高めながら、生産効率

